

## 新刊紹介

### テンプレート式 理系の英語論文術 国際ジャーナルに学ぶ伝わる論文の書き方

中山裕木子著

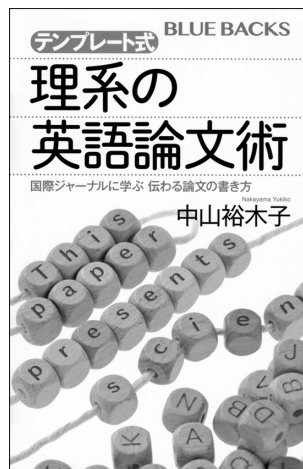
2023年9月20日発行

講談社

1,200円(税別)

新書版, 318頁

ISBN: 978-4-06-533364-8



英語論文の書き方に関する本は多く出版されていますが、効果的と思う本が出版されたので、紹介します。この本の特徴は英語論文の執筆時に使えるテンプレート（基本的な文構造、使用するべき動詞、形容詞、副詞など）とともに、そのテンプレートを使った文例が示されている点です。文例はすべて国際ジャーナルに掲載された文のため、このテンプレートを用いることで論文を英語で書くときに必要な表現を学ぶことができます。本書では英文でのタイトルとアブストラクトの書き方の説明が主ですが、アブストラクトの書き方は論文の本文にも適用できる内容です。英文の細部の精度を高める方法として難解な表現や誤った表現を避け、正確・明確・簡潔に英文を書く方法（第2~4章）も記述されています。

本書の目次を紹介します。

- 第1章 論文タイトルとアブストラクトの役割
- 第2章 陥りやすい難解な文構造
- 第3章 ありがちな基本の不具合
- 第4章 気付きにくい不適表現
- 第5章 最適なキーワードの配置  
(テンプレート1 タイトル)
- 第6章 円滑な背景紹介  
(テンプレート2 アブストラクト：研究の背景)
- 第7章 研究内容の詳細説明  
(テンプレート3 アブストラクト：研究内容)
- 第8章 知見の効果的な提示

(テンプレート4 アブストラクト：結果と考察)

第9章 全体の流れの改善

(テンプレート5 文と文の結びつき)

第10章 機械翻訳ツールの活用法

第1章はキーワードを決めて、名詞の単複と冠詞を整えてタイトルを作成する方法、3つのステップから考えていくアブストラクトの効果的な書き方が解説されています。アブストラクトに対しては基本テンプレートがあるので、これまで英文でアブストラクトを書くことが苦手だった人にとっては有益な情報になりそうです。第2章から第4章は日本語を基にして英語論文を書くときに陥りがちな文章構文とそれの改善方法が具体的に説明されています。評者の書く英文は「日本語の影響を受けた英文」のため改善したいと思っていたので、これらの章は大変参考になりました。

第5章から第9章は再び、タイトルとアブストラクトを書く時に使えるテンプレートが紹介されています。ここではアブストラクトでの記述内容ごとのテンプレートとそれを用いた国際ジャーナルでの文例が紹介されています。第10章では最近使われるようになってきたAI(人工知能)を使った機械翻訳ツールを使った場合の注意点が列挙されています。英語論文を書くことが苦手な人にとって機械翻訳ツールは便利な道具になりますが、機械翻訳を使うときには日本語を適切な文型(SVOなどの単純な文型)に書き換えるなど)に変

更してから使うことなどの注意点が説明されています。機械翻訳は現時点では完璧ではないため、機械翻訳した結果を評価できる英語力は引き続き必要であることに評者は気がつきました。

本書には Tips for Readers という 19 のコラムが掲載されています。学生の質問とそれに答える先生というスタイルですが、本書を読む方の疑問に答えるという側面もありそうです。

評者は『雪氷』83 巻 2 号に「英語論文ライティング技法—正確・明確・簡潔に書く技法—」を紹介しました。今回の本は同じ著者が執筆された本です。前者が英語論文を正確・明確・簡潔に書くために百科事典的な本だとすると、今回の本は英語論文を正確・明確・簡潔に書くために重要な点を国際ジャーナルに掲載された文を基にしたテンプレートで、具体的な書き方を示した本と言えます。また、我々日本人科学者が英語論文を書くときに陥りやすい「日本語を反映した英文」をどのようにしたら、正確・明確・簡潔な英文に修正することができるかをまとめた本と言えます。

著者は日本人が書いた特許や論文に関して、日英特許翻訳、英文校閲、技術英語指導などを行っており、日本人科学者が執筆する多くの英文を読んでいる方です。評者が以前紹介した本とともに、本書もそのような経験が十分に活かされた内容です。本書のあとがきには「人間生活の発展、改善、問題解決に日々取り組まれている研究者の皆様が、自身の英語論文のプレゼンスを高めることで、研究の場を世界へ広げ、ますますご活躍されることをお祈りしています」と記載されており、このような著書の想いの詰まった本だと思います。

評者が以前に紹介した本と合わせてこの本も読むことで英語論文執筆の技術を身につけ、自信をもって英語論文が執筆できる方が増えることを期待します。前回の新刊紹介にも書きましたが、雪氷学会が刊行する Bulletin of Glaciological Research 掲載論文、学会誌『雪氷』の英文アブストラクトでの英文の質が向上することも願っています。

(亀田貴雄)

(2023 年 12 月 24 日受付)